



令和2年産も「需要に応じた米生産」と「水田フル活用」に取り組みましょう!



令和2年度主食用米の生産目標は?



富山県の生産目標は“前年同数の181,695トン”として設定。

○全国の生産目標は、近年の人口減少の影響等を踏まえ、需要量減少が一層進むと見込まれることから、708～717万トン(対前年比9～18万トン減【▲1.2%～▲2.5%】)とされました。

○一方で、富山県の生産目標は、

- ① “高品質・良食味の確保” や、“消費者や実需者の多様なニーズに対応した米づくり” 等の取組みにより、本県産米の需要量が堅調であること
- ② 農業者の米生産意欲にも十分配慮すべきこと
- ③ 地域段階での大豆や大麦、園芸作物などの計画的な水田利用が図られていること

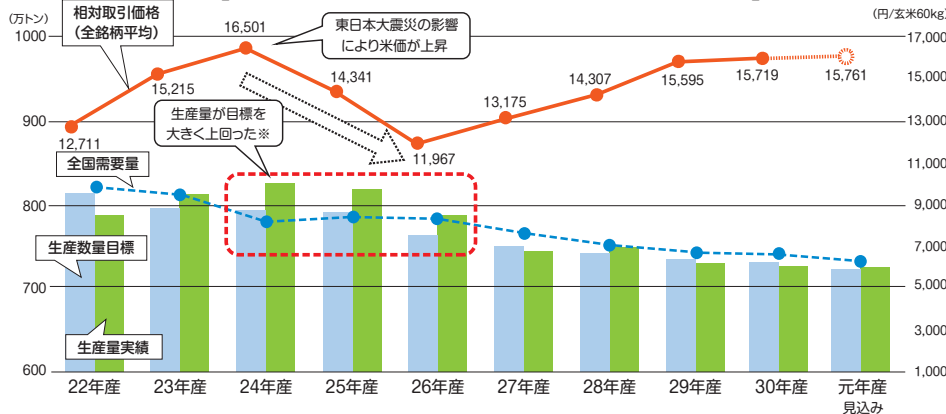
などの状況を考慮し、県段階の**生産目標**を、前年同数に据え置くこととします。

生産者、農業者、行政等が一体となって「需要に応じた米生産」に取り組みましょう



米づくりをとりまく状況はどうなっているの?

【相対取引価格と生産量の推移(全国状況)】

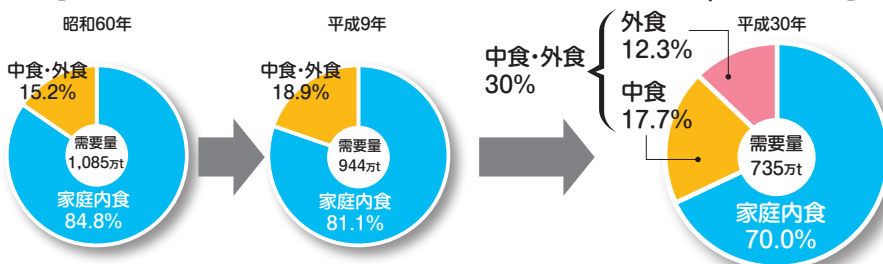


(農林水産省資料より作成) ※供給過多の状況が続いたため、米の取引価格の大幅な下落を招きました。

需要に応じた米生産とは

- ▽米の需要量(全国)は、年間約10万トンずつ減少する傾向。
- ▽米の販売先の割合は、家庭消費が減少する一方、中食、外食など業務用が増加傾向。業態やメニューにより、求められる価格や品質が異なるため、ニーズに応じた生産が必要。
- ▽主食用米の生産が過剰になると、米価下落や過剰在庫の発生が懸念。

【米の消費における家庭内及び中・外食の占める割合(全国状況)】

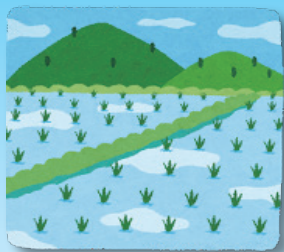


農林水産省「米をめぐる関係資料」令和元年12月

中食・外食の実需者が求める品質

【用途に適した例】

- ・おにぎり: 粘りがあり、冷めてもおいしい良食味米 (例) コシヒカリ
- ・寿司: 酢が入りやすく、粒がしっかりとした米 (例) てんたかく
- ・丼物: 液通りが良く、やや硬いお米 (例) てんこもり



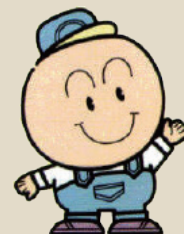
地域で創意工夫して、 水田フル活用に取り組みましょう。

- ①県農業再生協議会は、円滑な作物選択が行われるよう、県段階の「作物別の生産方針」を提示します。
- ②これを受け、地域農業再生協議会やJA等は、地域の生産方針を作成・提示します
- ③生産者等は、提示された生産方針を参考に、翌年産の作付計画の検討や土地利用調整を実施します。
 (「米の生産目標」を踏まえつつ、「作物別の生産方針」を参考に作付作物を選択)

作物	県段階の生産方針（概要）
主食用米	①高品質で美味しい米づくり、②「富富富」の戦略的導入、③業務用等のニーズに応じた品種選択や複数年契約の推進などにより、需要量を確保
非主食用米	加工用米や備蓄用米、新規需要米（飼料用米、米粉用米、輸出用米等）は、実需者とのマッチングを図るとともに、麦あと水田の有効活用など効率的な生産を推進
大豆・大麦	水田農業の基幹作物として、大豆は生産拡大、大麦は需要に応じた計画生産を図るとともに、生産性向上を推進
野菜等の園芸作物	野菜等の園芸作物は、「1億円産地づくり品目」を中心に産地ブランド化を進めるとともに、積極的な生産拡大を推進
ハトムギ、そば、薬用作物等の地域特産物	ハトムギ、そば、薬用作物等の地域特産物は、栽培技術改善や商品開発・販路開拓などにより生産振興を推進



富山の新しいお米



富山県産大豆イメージキャラクター エンレイくん



令和元年度水田フル活用実績（富山県）

作付面積 単位：ヘクタール



水田フル活用により、

- ・生産目標に沿った生産
- ・麦あと遊休地や調整水田等の不作付地を解消
- ・農業所得の拡大、収益性の向上



うち麦あと未活用 (1,200)

令和2年度水田フル活用目標（富山県）

作付面積 単位：ヘクタール

